

MemsONE (成果版) の普及について

「MEMS用設計・解析支援システム開発」プロジェクト（新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO 技術開発機構）委託事業）は平成16～18年度（3ヶ年）の開発事業が完了しました。得られたMEMS用設計・解析ソフトの成果版（版）を6月初から頒布開始致します。

昨年11月末日から無償で配布してきた評価版（版）は2月末時点で約400件（ライセンスベース）の利用者があり、その70%の方々から、機能、価格、サポート等についてのコメントや期待が寄せられました。これらの声を参考にして改良を加え、プロジェクト開発課題全部を搭載した版をリリースする予定です。企業における商品開発・設計に、また大学での研究、教材等への活用を期待しています。

1. プロジェクトの狙いとシステムの特徴

本プロジェクトは、最先端の習熟したMEMS研究者・技術者に利用されるのみならず、初心者や経験の乏しい他分野の研究者・技術者であっても、MEMSに関する高度な知見やデータをストレスなく利用することが可能なシステムの開発を目指してきました。これによりMEMS産業の裾野拡大を図ることを狙っています。

本システムMemsONEは、ソフト開発企業3社が其々得意の分野を分担、MEMSデバイス事業を手掛けている5社がその経験と実績で仕様付けや評価に参画、13大学の教官が最先端の知識と知恵を提供、1研究機関が長年に亘り蓄積した計測技術を提供することにより開発されました。

MEMSの設計に必要な解析機能は一通り搭載（All

In One）され、日本語で対応できることが何よりの特徴で、初心者にとっては使い易いものとなっています（図参照）。

機能としては、解析・設計の標準的ソフトの他、最終構造からマスクやプロセスを設計するというユニークな「逆問題」ソフトやデバイス開発時に課題の多い接合・パッケージの評価ソフト、MEMS分野で最新技術動向の焦点となっているナノインプリント解析、回路との一体解析や、1700件を越す豊富な知識データベース、プロセスラインで取得したデータを含め約170件の材料特性データベースが揃っています。

2. 普及に向けた活動

MemsONEソフトの普及に向け昨年度から実施している広宣活動として、電気学会「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、第9回関西設計・製造ソリューション展、マイクロマシン展、及び同時開催の成果発表会、更にはNanotech2007展示会において大々的にアピールしてきました。

このような広報活動の成果もあって、MemsONEクラブ会員の登録数は約800名にまで拡大しました。MemsONEクラブ会員はMemsONEの潜在的ユーザとして位置付けられるので、今後も情報公開・サービスを重点的に行っていく所存です。

3. 版の頒布日程

- ・頒布案内：4月からホームページ、メディア等を通して 版頒布の案内を開始します。
- ・頒布価格：1万円/ライセンス程度とします。
- ・使用環境：詳細はホームページに掲載します。

